

丹波市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）に対するパブリックコメントの結果について（案）

1 パブリックコメントの実施状況

（1）パブリックコメントの実施期間

令和6年9月13日（金）～令和6年10月15日（火）正午

（2）ご意見・ご提案の応募者数及び件数

応募者数：5名 / 件数：12件

2 ご意見・ご提案に対する市の考え方 ※ご意見・ご提案は、原文のとおりに記載しています。

番号	該当頁	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	修正の有無
1	—	丹波市で環境と言え、山、林、木でしょう、林業が問題と考えるが、本音を言え、伐採から木材加工迄一貫した設備を構築して欲しいが、市が利益を出す事は悪い事では無いと考えるが、以前の神戸市（神戸市株式会社と言われていた）を見れば解ると思います、丹波市には此れだけの物を構築出来る企業はありませんが、市で構築するのは可能では、副産物として、発電、林業学校、就職、熱利用し温泉施設等、考えればまだまだ利益を生み出す方法は沢山有る、丹波市だから出来る、但し地元の若い人は林業はしないでしょから町で募集中する、移住者が増える利点も有ると考えるが、丹波市を発展させる事にも成ると考える。	ご意見として承ります。 木材産業の活性化に向けた施策については、丹波市森林づくりビジョンで示す森林づくりの方向性や森林林業施策の基本方針に基づいて進めていきます。	無
2	31 ページ	図 4-1 について、ごちゃごちゃしない程度に、人間の姿を入れるのもよいのではないのでしょうか。	ご指摘を踏まえ、人が生活する、活動する様子をイメージ図に書き加えます。	有
3	31 ページ	図 4-1 の 2050 年ゼロカーボンシティを達成した丹波市のイメージが、建物など、いろいろなものが詰まっており、分かりにくく感じます。	ご指摘を踏まえ、図 4-1 のイメージ図を修正します。具体的には、建物や要素を整理し、よりシンプルで分かりやすく見えるように工夫します。	有

番号	該当頁	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	修正の有無
4	35 ページ	2 行目の「私たちの子や孫が」について、30 ページ最下行と同様に「私たちの子や孫など将来の世代が」としたほうが、多様な立場の方に寄り添い、その同意をより促すことができると考えます。	ご指摘を踏まえ、「私たちの子や孫など将来の世代が」の表現に修正します。	有
5	44 ページ	エネルギー創出の取組方針について、③-1 に家庭や各事業所への太陽光発電設備の導入推進が記載されています。確かに化石燃料を用いた現行の発電に比べ、太陽光発電は CO₂ の排出を抑えられると思います。しかし、発電パネルには寿命があり、使用できなくなった後、その廃棄に関わる問題は未解決の部分が多いのが現状です。廃棄処理に伴う CO₂ の発生や有害物質の環境への流出などをふまえると、長期的にみて太陽光発電の導入が本当に地球温暖化防止に役立つのか疑問を抱いています。 それよりも、今の生活が電力を使いすぎているという現実を理解し、方針にもあるように個人や企業が使用する電力をとにかく減らすことが必須であり、そのために市としてできることに資金を使ってほしいと思います。	ご意見として承ります。 太陽光発電パネルにはご指摘のような課題があり、環境省と経済産業省が設置した有識者会議でリサイクル義務化が議論されるなど、対応策が検討されています。こうした法整備の動向などを踏まえ、取組を進めたいと考えます。	無

番号	該当頁	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	修正の有無
6	47 ページ	環境創造型農業の推進に強く賛同します。 少し表現は異なりますが、海外でも環境再生型農業が少しずつ浸透してきており（市の図書館にあるゲイブ・ブラウンさんの「土を育てる」に詳しく記載されています）、環境再生型農業の特徴の一つは、農地を耕さない不耕起栽培であることです。 耕さないことで土壌環境が豊かになり、地力が増していくことは様々な研究により実証されています。 植物は大気中の CO₂ を土中に固定してくれるので、田畑の地力が増すことで CO₂ 削減に繋がります。 また、トラクター等耕起に関わる農機具の使用が減ることによる CO₂ 削減も期待できます。 大規模な面積をいきなり不耕起へ切り替えることは難しいですが、丹波市の名産品である小豆や大豆などの豆類は比較的不耕起への転換が容易な品目です。 市の環境保全型農業推進の一環として、不耕起栽培の推進も視野に入れてみてはいかがでしょうか。	ご意見として承ります。 環境創造型農業の推進については、丹波市農業・農村振興基本計画の施策の方向性を踏まえ、ご提言の不耕起栽培を含め様々な農法を情報収集しながら取組を進めます。	無
7	55 ページ 56 ページ 60 ページ 61 ページ	見出しの中の「CO₂」について、ルビを振るのであれば、「シーオー」と中途半端に止めるのではなく、「シーオーツー」と最後まで表記するほうが読みやすいです。	ご指摘を踏まえ、「シーオーツー」のルビ振りに修正します。	有
8	55 ページ	見出しのカッコ内「燃料電池自動車」について、次の■のカッコ内と同等に扱うならば、ルビを振るのが妥当ではないでしょうか。説明文に「Fuel Cell Vehicle（燃料電池自動車）の略称」とあるので、見出しのカッコ内については削除するのも一つの方法かと存じます。	ご指摘を踏まえ、「FCV」の表記を修正します。	有

番号	該当頁	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	修正の有無
9	55 ページ	用語説明で、次の用語の説明もお願いしたいです。 「カーボンニュートラル」 「グリーントランスフォーメーション（GX）」	用語解説に「カーボンニュートラル」と「グリーントランスフォーメーション（GX）」の説明を追加します。	有
10	55 ページ ～61 ページ	用語説明全般について、「○○」という用語を見出しとして いる場合、説明文において「○○とは・・・」や「○○と呼 ぶ」等というような書き方をすると、用語の繰り返しによる 無駄が生じたり、くどく感じられたりするので、極力避けた ほうがよいと思います。	ご指摘を踏まえ、文書表現を修正します。	有
11	59 ページ 61 ページ	用語説明（55～61 ページ）が一様に常体の文末表現をとって いるにもかかわらず、部分的に敬体になっているので、どち らかに統一したほうがよいと思います。	ご指摘を踏まえ、常体の文章に統一します。	有
12	61 ページ	「上記名称の変更となり」について、「上記名称に変更とな り」のほうが違和感なく、すんなりと読み進められるように 思います。	ご指摘を踏まえ、「上記名称に変更となり」に修正します。	有